



第12章

復活と初期教会



急げ、暗くなるぞ!

覚えているだろ、イエス様はこうなることを何度も我々に話して下さっていた。上手く説明は出来ないが、まるでイエス様はこの様な死に方を望まれていたのかと…。彼は全てをご存知だったんだ。夕べもそう言われていたではないか。



ご遺体に香油を塗って差し上げる時間もないわ。

安息日が過ぎたら戻ってきて塗って差し上げましょう。

それじゃあ、三日も先になってしまうわ。

そうするしかないわ。

段になっておりますゆえ、足元に気付けて。

祭司たちはピラトの元へ戻って行った。

ピラト様、張りつけにした例の不屈き者が、死んで三日目に生き返るなどと言っております。

入り口を破られぬよう、しっかり見張っているんだぞ。

もし、奴の弟子達が墓に忍び込んで、遺体を運び去るようなことになれば大変なことです。墓の入り口に門番を置くべきです。

よし、番兵を配置しよう。然りべき措置を取るがよい。

これだけの面々が守っていれば、蟻一匹忍び込めるはずないですよ。





死人の救世主が逃げ出すとでも？死体は完全に守ってみせますよ、なあ、お前達！

あっはっは！



イエスが埋葬されて三日後…

死人の見張り番なんて前代未聞だな。



任務が終わる夜明けまで、もうすぐだ。



すぐに夜明けですわ。急ぎましょう。三日目が過ぎてしまう。

そうね、早く終わらせましょう。



また地震だわ！

きゃあ～！



今の揺れは大きかったわね。

誰かが叫んでいるわ! 怪我でもしたのかしら?



な、なんだ?

うわあああ〜!



神だ!

石を動かしている!

殺されちまう!

神よ、お助けを!



置いていかないでくれ! 神様、お助けください!

あ、ありえない!

逃げろ、やばいぞ!

あんな大きな石をどうやって動かせばいいのかしら？

しばらくして…

誰かが石を動かしたんだわ！

分からないわ。でも、香油も塗らずに三日三晩経ってしまったから、ご遺体は臭うかもしれないわね。

彼女達は、兵士達が墓を見張っていたことは知らなかった。

ご遺体がない！お墓は空っぽだわ！

まあ、あなたはどなた？イエス様のご遺体はどこなのですか？

あれは埋葬用の衣だわ！

びっくりしなくていいですよ。処刑されたイエス様を探しておられることは知っています。彼はもうここにはいません。彼の言葉通り復活なさいました。

イエス様が安置されていた場所をご覧になったら弟子達に伝えてください。イエス様はガリラヤで彼らにお会いになります。

イエス様が生きておられる？あのラザロのように生き返ったと？

あの方々は神のお使いですわ！

イエス様が生きています！

急ぎましょう！お弟子さん達に知らせなくては…



イエス様は生きておられるわよ！ 私達はお墓に行ってきました。

イエス様はお墓にはいらっしやなくて、天使たちがそこにいました。

イエス様は、三日目に復活なされると言っておられましたよね？

あなた方とガリラヤで会われるそうです。



ペテロ、どこへ行くんだ？

墓だ。



ヨハネはペテロの後を追ひ、ペテロを追い越して走った。

ヨハネ、待ってくれ！そんなに早く走れないよ！



空だ！



どういふことなんだ？

ヨハネ、埋葬用の衣がまるで、たった今、起き上がって出て行ったかのように折り畳ま

れている。まさか!

天使なんてどこにもいないぞ。彼女らは幻でも見たのかもしれないな。



白い衣を着た男達を見なかったの?

天使どころか、誰一人として見なかったよ。イエス様のご遺体もなかった。



しくしく

ご婦人よ、なぜ泣いておられるのか?



私たちの主のご遺体を誰かが持ち去ったのです。私には、ご遺体がどこにいったのか見当もつきません。



マリア!




先生!

マリア、まだ私に触れてはなりません。私は未だ父の元の上っていないのです。しかし、弟子達にはあなたが見た通りのこと、そして私が彼らに会いに行くことを伝えて下さい。



我が主よ、生きておられたのですね。



弟子達は、イエスが死から甦ったと聞き、耳を疑った。

ペテロとヨハネは、墓が空だったと言っていたから、誰かがご遺体を盗んでいったに違いない。バカバカしい事を言いまわっている婦人達を止めなくては…みんな、うろたえてしまうぞ。


エマウに戻ろう。ここにいる理由は、もうないからな。



三日目だな。

ああ、しかしイエス様がもし、復活なさるのなら何故、わざわざ殺されなくてはならなかったんだ？


そうだな、イエス様がもしも王となられるなら、なにも内密にすることはなかった訳だ。



ご一緒してもよろしいかな？


うわっ！びっくりさせるなよ。どこから来たんだ？

もちろん、いいさ。歩くには最高の日だね。




あなた方が話していることが聞こえていますね。何か悲しいことでもありましたか？

あんたは、三日前にナザレのイエス様に起こった事を知らないのかい？



我々が信じ、希望を持っていた救世主が張りつけにされたんだ。


今朝、婦人達が墓に行ったところ、イエス様のご遺体が無くなっていったんだ。彼女達は天使を見たと言い、イエス様は生きておられるとまで言う始末さ。




そこで、二人の弟子が墓に飛んでいったが、イエス様も天使もいなかったんだ。ご遺体は行方不明だ。

あなた方は預言の書に書いてある、救世主のことを信じていないのですか？聖書には、イエスは数々の苦難を受け、そして栄光の王国を立ち上げると書いてあるのではなかったのですか？






その、十字架に掛けられたナザレのイエスが自らをキリストと言ったのなら、神ということではないのですか？イザヤが書いています「キリストは全能なる神、神は永遠である」と…イエスはあなた方にも言ったのではなかったですか？「イエスを知っているのなら、あなた方はすでに神をも知っているはずである」と。彼の言葉は聖書にも明らかにされているではありませんか？




イザヤはこうも書いている：キリストは、イスラエルまたはユダヤに、ユダヤ人の王がいない時に現れる…それが今、この時です。救世主は処女が身ごもり処女から誕生すると。預言者ミカによると、その子供はユダヤのベツレヘムで誕生すると…多くの預言者が、その子供はダビデ王の系列であると伝えています。

なぜならば、ヨセフとマリアは共にダビデ王の系統なのです。

イザヤの預言では、救世主はイスラエルから拒絶されると記述されています。預言者達はまた、彼が受けることになる苦難についても預言しています。彼は仲間の一に銀貨30枚の為に裏切られ、多くの告訴人の前で自らを正当化する術もなく痛めつけられ、傷つけられて彼の顎ひげはむしり取られる。裸体にされたイエスの顔に唾を吐きかけ、彼の背中中は鞭で打たれて、かつて無いほどに傷つけられる。預言者ゼカリヤは、この様に記述しています。




救世主はまるで、屠殺場に連れて行かれる子羊の様に、彼の友人達により槍で突かれ両手に傷をつけられ殺される。このようにして、彼の死は決定的となり、やがて金持ちの墓に埋葬される。



預言者は、キリストがイスラエルの良き羊飼いとして、盲者の目を開き捕らわれ人を解放し、救い主としてシオンに来ると言った。

しかし、これは彼が避けて通ることが出来なかった悲劇ということではない。何びとも彼の生命を奪うことは出来ない、しかし、こうなることは、彼の意志だとイエスは言いませんでしたか？イザヤは、イエスの魂は罪を償うための生贄のようなもので、イエスが痛めつけられることは神の御心に適ったことだと言っています。他人の罪の為に彼は殺され多くの罪を彼は負い、彼の死によって人々の罪は赦されるのです。

死は終わりを意味するものではありません。イエスの死後も彼の生命は終わることなく続き、彼は賛美を受けあがめられ、この世の終焉の救世主となるであろう。彼には不可能な事などなく、救世主は新たな誓約となるだろう。彼は、新しき地上においての、新しき都市にてイスラエルを建て直す審判かつ統治者となるだろう。



誰もが彼にひざまずき、彼こそが主であると誰もが揃って認める日がくるであろう…とイザヤは言っている。

さて、教えてくれないかね？何故、そんなに悲しんでいるのですか？婦人は、天使からイエスが復活したと聞いたと言いませんでしたか？

な、なんと！



私の家です。さあ、旅のお方よ、夜はもう遅い。今夜は私どもと一緒に過ごして下さい。私はイエス様についての預言をもっと聴きたいのです。



旅のお方よ、もしよろしければ、我々の食事を祝福してください。さらぬか？



大地の恵みを与えし宇宙の王、我らが主よ。神よ。私達に食事を与えて下さり心より感謝致します。



さあ、いただきますしよう。

イエス様！あなただったのですか！

師匠！



消えた！  
一体、どこへ！

我々はずっとイエス様と一緒にいたのだ。

あれだけの預言をご存知だったのも納得できる。



イエス様が生きておられた！死でさえ彼を縛れなかったのだ。生きておられたんだ！エルサレムに戻って弟子達みんなに伝えよう。

一方、  
エルサレムで  
は…

ちゃんと錠を  
下ろしておこう。イエ  
ス様のご遺体が無く  
なって祭司達の怒りは  
今まで以上だ。我々が  
盗んだと思っている  
らしい。

イエス様  
は三日目に復活なさると  
おっしゃった。

私はイエス様  
のお姿を拝見し、こ  
の手でイエス様の釘  
で打たれぬかれた跡の  
ある手に触れるまで  
は信じないぞ。

あれだけ大  
勢の兵士がいる所  
から盗んだと？

ゆ、幽  
霊だ！

助けて！

イエ  
ス様！

恐れなくてもよろ  
しい。トマス、私の姿を見る  
までは信じられないと言いま  
したね。さあ、近寄って釘の  
跡のある私の両手を見て御覧  
なさい。ほら、私の身体の傷  
に触れて御覧なさい。

我が主よ、  
我が神よ！

トマス、あなた  
は私を見て信じまし  
た。しかし、見ずと  
も信じられる人は、  
もっと祝福されます。

何か、食べるも  
のがありますか？あ  
なた方に伝えることが  
沢山あります。私は数日  
間、あなた方と共  
にいますよ。

先生！

イエス様！



私はガリラヤで弟子達に会いましょう。全ての弟子達に伝えて下さい。そこで話します。

キリストが、あなた方の罪の為に苦難を受け、三日目に死から復活することや、エルサレムを基点に真理は、彼の名のもとに遍く全世界に伝道されるということは、遥か昔から聖書に書かれています。エルサレムで待っていなさい。私はあなた方に聖霊を送りましょう。真理を広める手助けとなるはずで



私には天においても地においても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、私があなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。私は世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

私の父の家には住む所がたくさんあります。あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。私がいる所に、あなたがたもいるようにするためです。



エルサレムへ行き、聖霊があなた方に降りて私の名のもとに力を授けてくれるのを待ちなさい。

イエス様が上って行かれる!

天のお父上の元へと戻って行かれるんだ。



この世の終わりの時まで、私はあなた方と共にいます。

行ってしまわれた。天国に戻られたんだ。



まだあなた方は空を眺めているのですか?

何だって? あれは誰だ?

お墓で見た二人の天使だわ!

いつの日にかイエス様は、たった今あなたがご覧になられた様に、雲と共にあなた方の元へ再び戻って来られます。



イエス様は天のお父様の元へ戻られたのです。



さあ、エルサレムへ行き、聖霊を待つのです。



イエスの弟子達は、彼が命じた通りにエルサレムへ行き、天から授かるという約束された力を待ちながら10日間祈りを続けた。彼らは、公にイエスの復活を口にするのを恐れた。なぜならば、彼らも殺されてしまうのではないかと思っていたからである。



彼らが祈りを捧げていた場所が突然揺れて、強い風が、まるで火で造られた舌が降りてきたかのように、彼らの一人一人に吹き付けた。



彼らは聖霊に包まれ、彼らを知る由も無い国の言葉で神を賛美し始めた。




聖霊が彼らに降りてきてからは、彼らは人としての恐れというものを忘れ、公に神を賛美し、礼拝するべく外へ出て行ったのだった。

私たちの主、イエス・キリストの父なる神に栄光あれ！


みんな酔っ払っているのかと思いきや、私の国の言葉を詠ることなく完璧に話している。

ああ、私の国の言葉もだ。なぜ、学のない者達があんなに完璧に話せるんだろう。

イスラエルのみなさん、イエス様の行われた数々の奇跡をご覧になったはずですよ。これこそ、神がイエス様と共におられ、そして十字架に掛けられたにも関わらず、その死から神がイエス様を甦らされたのです。



1000年前、ダビデは  
イエス様のことを預言した。  
「あなたは私のたましいをよみに捨て  
置かず  
あなたにある敬虔な者に滅びを見せ  
にならないからです。」



救世主を私  
達は十字架に掛けて  
しまった…どう  
したらいいので  
しょうか？

よって、イスラエルの  
人々よ、あなた方は確実に知る  
ことです。あなた方が十字架に  
掛けたイエス様は主であり、救  
世主キリストその方なのです。

イエス様に改心しなさい。  
そして、水の洗礼を受けイエス  
様に従うのです。主はあなたの罪を  
お赦しになられ、聖霊の贈り物を  
受けることが出来るでしょう。



イエスは  
主です。

私もイエ  
ス様を信じま  
す。どうか洗  
礼を！

彼の言葉を受け、人々は嬉  
々として洗礼を受け、同じ日、  
3000人もの人々が洗礼に  
加わった。



数ヶ月後

イエス様が我々の  
前にいらっしや  
った日が、まるで昨日  
のこのようだ。

何千という  
人々が、続々と  
イエス様に立ち  
返っている。

ああ、そうだね。  
それにね、私には以前、  
イエス様と一緒にいた  
頃よりも、もっと強く  
イエス様の存在を感じ  
られるんだよ。



旦那様方・・  
どうか、この不自由で  
衰れた私に少しばかり  
恵んでくださいませ  
せんか？

ペテロ、  
私には持ち前がな  
いんだが、君は幾  
らか持ち合わせて  
いるかね？

いや、しかし聖霊が  
我々に降りて来てから、  
彼に与えられるものは  
ある。



金銀は私にはない。  
しかし、私にあるものを  
あげよう。ナザレのイエ  
ス・キリストの名によっ  
て立ち上がり、歩きな  
さい。

なんと非情な・・・その  
男は生まれつき足が不自  
由なんだぞ。彼の足はも  
う使い物にならないんだ。



イエス・  
キリストが、あ  
なたを完全な身  
体にして下さい  
ますよ。



ほおっ～！

全能な  
る主よ、  
神よ！

足が  
伸びてい  
るぞ！




信じられない。  
あの不自由だった  
足で歩けるとは！

歩くど  
ころか、飛び跳  
ねているぞ！



神に栄光  
あれ！イエス  
様、感謝いた  
します。






あれは、足が  
不自由だった男だ。  
彼の両足は使い物に  
ならなかったはずなの  
に…。

十字架に掛けら  
れたイエスの名  
のもとに、彼の足は  
癒えたらしいぞ。

あなた方は、我々がまる  
で手品が何かをしたと思っ  
ているのですか？アブラハム、イサク、ヤ  
コブの神が、あなた方が十字架に掛  
けたイエス様に栄光をお与え下さ  
ったのです。あなた方は、生命の第一  
人者であるイエス様を殺してし  
まったのです。


しかし、神はイエス様を復  
活させ現に我々は彼をこの  
目で見ました。この方が癒され  
たのは、イエス・キリストへの  
信仰心によってなのです。

イエス様が十字架に掛け  
られたことは、あなた方の無知  
からだと存じ上げております。し  
かし、預言者の記述の中で、これ  
らの事は、必ず起きると言わ  
れ続けてきたのです。




みなさんは、私のこ  
とを知っておられたはず。  
神が私を歩けるようにして  
下さったのです。さあ、イ  
エス様を信じ付いていこう  
ではありませんか！

改心してイエ  
ス様の弟子となり、  
罪を拭い去ってもら  
いなさい。



イエスを十字架  
に付けた宗教家  
達が、兵を出し  
ペテロとヨハネ  
を捕らえた。

我々の宗教  
に異を唱え人々  
を惑わすとは法  
に違反している  
ぞ！



彼らは何も悪い  
ことをしていな  
いじゃないか！



奇跡だ！  
まるでイエスが  
生きていた頃の  
様だ！

お弟子さん達も、  
あの足の不自由  
だった人も連行さ  
れている！

私の近所の者は、  
イエスの死後、彼を見  
たと言っていた。一度に  
500人に現れたそうだ。

私はお弟子  
さん方に会って、  
もっとイエス様  
について教えて  
頂こう。




我々がイエスを  
十字架に付けて始末し  
た時点で、異教徒は排  
除したと思っていたの  
だが...

イエスは  
生きてい  
るとほざいて  
るんだ。

ならば、また殺  
せばいいのさ、弟子  
もろともな。

彼らが言うに  
は、イエスは天  
の父親と一緒に  
いるんだとさ。

ならば、  
あの二人も直  
に仲間入りさ。



この男が生まれつき足が不自由なのは、我々も周知の事実だ。どのようにして歩けるようにしてやったのだ？誰の名のもとに、このような事をしたのかね？

あなた方が十字架に付けて殺し、神が死から復活させたナザレのイエス・キリストによって、彼は完全なる身体になりました。聖書ではこう書いています：「家を建てる者たちが捨てた石、それが礎石となりました。」

この方以外には、誰によっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。

皆の目前で彼の足が治ったのは、もはや我々も否定は出来まい。それがイエスの手によるものとは、困ったことになったぞ。

ここにおる二人は無学と見えるが、預言者の言葉が口からすらすらと出てくるとは意外だ。

私は彼らを知っておりますぞ。イエスと一緒にいた弟子達です。

これ以上、死んだイエスの名を語り、病人を治すという行為を続けるならば、お前達もイエスと同じ運命だ。解ったか！ならば、ここから出てゆけ！もう復活などというバカげた作り話は持ち込むでない！

神より、あなた方に従う事が正しいというのですか！私達は、この目で見、そして聞いたことを語らずにはおれません。

奴らをここから放り出せ！

福音はイスラエル中に広まっていった。多くの者がイエスを信じ、水の洗礼を受けたのだった。

教会は愛と平和に満たされた、イエスを信じる何千という人々の団体となった。

イエス様に関する素晴らしいニュースを聞いたかね？


イエス様は復活なさって、今でも我々と共に生きていらっしゃるんだ。

イエス様を信じてからというもの、俺の一家は初めて平和に暮らせているよ。

教会では、婦人達は尊ばれ大切にされた。

キリストの信者は歌いながら働いた。

キリストの信者の数は膨れ上がり、自分の物を他人と分け合い、家から家に、そして人に出会う度にイエスの教えを説いて回った。



イスラエルのみなさん、神はこうおっしゃった。我々の父祖は、見知らぬ国へ連れて行かれ、そこで400年の間、奴隷となると。そして後に、アブラハムに約束された。神はその国を裁き、神の民を約束された地に戻されると…

ステファノ、バカなことを言うなよ!

ソロモンは神の為に神殿を建てたが、人の手で造られたような神殿に神は在らせざるわけがない。預言者が言った様に「天はわたしの王座、地はわたしの足台。あなたがたがわたしのために建てる家は、いったいどこにあるのか。わたしの安息の場は、いったいどこにあるのか。これらすべては、わたしの手が造った。」

我々の神殿の悪口を言っているのか!

ステファノ、お前それでもユダヤ人か?

俺達の法や伝統をぶち壊す気か! 一体、何で償う気だ! ローマ軍が十字架に付けた死人でか? それも誰も生き返ったのをみたことのない死人だ!

あなた方は何という強情なんだ。あなた方の心は神を求めている。祖先と全く同じじゃないか! あなた方の祖先も、あなた方もイエスキリストの到来を預言した預言者たちを殺し、そして救世主を裏切り殺してしまったのだ。

見なさい、天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。ああ、なんと輝かしさ!

耳を塞げ! あんな冒涇者の言う事など、誰も聞くんじやないぞ!

死刑にしろ!

町から追い出して殺してしまえ!





冒涇者を殺せ!

イエスの一派は皆殺した!

こんなのは未だ手始めだぞ!

こうして、エルサレムの教会に対しての大迫害が始まり、使徒を除いて信者は町を去って行った。


パリサイ派のサウロは、教会に対して攻撃をしかけた。各家を回り、男女問わず牢に投獄した。



ここには、イエスの信者はもういないか?


お父さんを傷つけないで!

その女を捕らえろ!




ピリポという  
信者が祈りを捧げ  
ている時、天使が彼に  
語りかけてきた。


ピリポ、立ち上  
がりエルサレム  
からガザへと下  
る街道に向かい  
なさい。




なぜ、そこへ向  
かないといけない  
のか解らないが、神  
が行くように言われ  
るならば私は従うだ  
けだ。



ここだな。  
次に私のなす  
べきことは？



主よ、  
あなたの望ま  
れる事は何で  
しょうか？



馬車の隊列だ！  
主よ、あなたが私を、ここ  
へ導かれた理由はこれで  
すか？あなたが選ばれた  
人が、あの中にいるの  
ですか？

あの一  
行の所へ行  
きなさい。





その馬車には、エチオピアの女王の高官で非常に権威のある人物が乗っていた。彼は女王の全財産を任された、女王にとってなくてはならない存在であった。彼はユダヤの慣習によりエルサレムへ礼拝に行き、エチオピアに戻る道中で馬車の中で聖書を読んでいた。

屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。虐げとさばきによって、彼は取り去られた。



イザヤの預言をお読みになっているんですね？ その意味はお解りですか？

私が読んでいる書のことを、よく存じられているようだが？ 誰か解説が出来る者を求めておった。馬車に乗りたまえ。



エルサレムから来られたのですね？

そうだ。礼拝に行っておった。わが国の信仰では、国の安穩が期待出来ぬのでな。まるで、神は遙か遠くにいらっしゃるようだ。

救世主の到来についての預言は読んだのだ。エルサレムでは、多くの人々が、救世主は到来なさったが十字架に掛けられ、しかし死から復活なさったと言っていた。

イザヤが言っているのは、彼自身のことなのか、それとも誰か他の人のことだろうか？

ご存知の様に、イザヤ書は約800年前に書かれています。この53章は救世主について書かれた多くの預言の中の一つであり、救世主は見下されて拒絶されると書かれています。

あなたはエルサレムから戻って来られたのでご存知でしょうが、イエス様は偉大なる奇跡を起こされたにも関わらず、我々の指導者達は彼を拒絶したのです。

イザヤは、イエス様が我々の罪の為に苦難を受けたと。5節目ですが、本来、我々が罪に対する制裁を負う代わりにイエス様が背負われたと書いています。

7節目は、イエス様が、その死の審判の場において弁明をされなかったということです。

私が特に知ってもらいたいのは、6節目「我々は皆、正道から逸れて迷ってしまった。主は我々全ての罪を彼に償わせた。」ということです。これは、つまり全ての人間は神への忠誠心を無くし、各々が罪深い道へと逸れてしまった。しかし、神がイエス様に我々の罪を背負わせ、死を以て我々の神への不従順さの代償とさせたのです。


8節目ですが、牢から出されたイエス様が民の罪のために殺されてしまうことが書かれています。

9節目は、イエス様が犯罪者と金持ちの墓に埋葬されると伝えています。

そして、イエス様は何の罪も犯していないが、神の御心により痛手を負い、深い悲しみを受けると…。それは、イエス様が我々の罪を償うためでした。


10節目は、イエス様の復活と復活後の伝道について書かれています。

その他多くの預言によると、イエス様が復活された後、彼は王座に座られ、全ての人々は死後、イエス様の前で各々の人生の審判を下されるの



私は、多くの律法学者や祭司達が、救世主の預言について話しているのを何度も聞いたことがあるのだが、なぜ、彼らはイエスを否定するのだろうか？


彼らの内の何人かはイエス様を受け入れましたが、多くは自分達の非を指摘され立腹し、自らの手を汚さずローマ軍に殺させたのです。彼らは国を支配しましたが、神に左右されることを嫌ったのです。



イエスについての預言は他にあらのだろうか？

詩篇22が、イエス様が十字架に掛けられることを預言したものです。

しかし、詩篇は1000年前に書かれたのであろう。その頃には、十字架の処刑は一般的ではなかったはずだが。



確かに。しかし、神は事がおきる前から全てお見通しであられ、救世主についての預言は340を超えるのです。それが、イエス様こそ、神がお遣わしになられた只一人の真実の方だと、我々が確信する所以なのです。

詩篇20篇の16節では、彼の両手足は釘で打ちめかれるとあり、同じく22篇の14節では、彼は渴きを覚え彼の骨は死と共に外れてしまうとあります。しかし詩篇34篇の20節には十字架に掛けられた彼の骨は、一つとして砕かれていなかったとある。ご存知の様に、張り付けにされた者の骨を砕くことは慣例上、当然となっておりますが、イエス様は骨を砕かれる前に亡くなられたので、兵士達は骨を砕かなかったのです。

詩篇22篇の17節では、兵士達はイエス様の裸体を傍観し、18節では兵士達がイエス様の衣を分けるために、くじを引く様が預言されているのです。

さらに、ゼカリヤ12の10節では、イエス様の両手は突き刺され、後にユダヤ人はその痕跡を見るであろうと。イザヤ50章の6節では、イエス様が背中を打たれ頬を殴られるであろうと。

詩篇16篇の10節では、イエス様の死後、そのご遺体は埋葬されても、墓の中で腐敗に至るまで長くは置かれないと預言されています。預言者達は、イエス様が友人に裏切られ、その裏切り者は首を吊り自殺するものの、内臓は野原に散らばり無縁塚に葬られると言っています。

これらの事柄や、全ての預言は成就されており、ナザレのイエス様こそが世界を救う救世主であられるということが疑いのないことなのです。

私はイエス様こそ救世主だと信じる。彼こそ、我々の罪を取り除く、約束された子羊なのだ。我々には、もう生贄の儀式は必要ない。イエス様こそ神への門である。私はイエス様に従う。



あなたが心からイエス様を信じるのであれば、私が洗礼の儀を施して差し上げましょう。

あそこに水場がある！私が洗礼を受けるのに、こんなに都合の良いことが他にありません。

もちろんだ！信じるとも！

我らが主と、救い主イエス・キリストの名において、あなたを洗礼致します。



神に  
栄光あれ！



あの人はどこに行ったのだ？



どこにも見当たりません。

彼は、多くの人々の為に必要とされているはずだ。さあ、エチオピアに戻って救世主について聞いたことを、女王に話さなくては！

エチオピアでは教会が設立され、その活動は、近代に入りイスラム教徒がほとんどのキリスト教徒を殺戮するまで続いた。